

安全データシート

JIS Z7252: 2019

JIS Z7253: 2019. GHS 改訂 6

High performance front fork fluid

現在のバージョン: 5.1

発効日: 21.03.2025

1: 化学品及び会社情報

商標名	High performance front fork fluid
品番	01330
会社名	ÖHLINS RACING AB
住所	Box 722, SE-194 27 Upplands Väsby, SWEDEN
電話番号	+46 8 590 025 00
緊急時の電話番号	-
メールアドレス	info@ohlins.se
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	潤滑剤
使用上の制限	推奨されない使用

2: 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

区分外

健康に対する有害性

区分外

環境に対する有害性

水生環境有害性(慢性)

区分 3

ラベル要素

絵表示

注意喚起語

適用できません

危険有害性情報

長期継続的影響により水生生物に有害 (H412)

予防策

【安全対策】

環境への放出を避けること。

【廃棄】

地域/国の規則に従って内容物/容器を廃棄すること。

3: 組成及び成分情報

混合物

化学品の名称	CAS 番号	重量 %
潤滑油 (石油)、C15-30、水素化中性油ベース	72623-86-0	50-100
蒸留物 (石油)、水素化処理重質パラフィン	64742-54-7	1.0-10
蒸留物 (石油)、溶剤精製軽質パラフィン	64741-89-5	1.0-10
アミンリン酸	68603-74-7	0.10- 0.25
フェノール系酸化防止剤エージェンツ	128-39-2	0.10- 0.20
アルキルアミン	1219010-04-4	0.10- 0.20

安全データシート

JIS Z7252: 2019

JIS Z7253: 2019. GHS 改訂 6

High performance front fork fluid

現在のバージョン: 5.1

発効日: 21.03.2025

アルキルアミン誘導体	1307863-78-0	0.10- <0.20
------------	--------------	-------------

¥

4: 応急措置

一般的な情報

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

医師に対する特別な注意事項

製品で汚れた衣類はすぐに取り除いてください。

新鮮な空気と休息。症状が続く場合には医師の治療を受ける。

石鹼と水で皮膚を洗ってください。

水で数分間注意深く洗い流してください。簡単にできる場合には、コンタクトレンズを取り外す。

直ちに医師または毒物管理センターに連絡する。口をすすぐ。意識のない人には決して液体を与えないでください。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。嘔吐を誘発しないでください。

液体を飲み込むと、肺に吸い込んで化学性肺炎を引き起こす危険がある。適切に治療してください。

対症療法。医師に相談し、この安全データシートを見せてください

5: 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

消火を行う者の保護

CO₂、消火粉末または霧状の水を噴霧します。大きな火災を消火するとアルコール耐性フォームまたはスプレー水と適切な界面活性剤を添加。

フルウォータージェットで水をかけます。

火災時には、健康に有害なガスが発生する可能性があります。

危険を伴わずに出来る場合には、容器を火災現場から移動させる。火災の残骸および汚染された消火用水は、公的規制に従って処分してください。汚染された消火用水を別途回収すること。排水溝に流さないでください。自給式呼吸装置と保護服を着用する火災の場合には着用しなければなりません。

6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

こぼした場合は、床や表面が滑りやすいので注意する。

環境への放出を避けてください。安全であれば、それ以上の漏れやこぼれを防いでください。拡散を防ぐ(例えば、結合または油の障壁によって)。すべての重大な流出については環境管理者に通知する必要があります。排水システム、地表又は地下水に流出させないこと。

液体結合材で吸収する(砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサルバインダー、おがくず)。内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。危険を伴わずに出来る場合には、物質の流れを止める。

個人の保護については、セクション 8 を参照してくださいそして廃棄に関する考慮事項については、それぞれ第 13 項を参照してください。

安全データシート

JIS Z7252: 2019

JIS Z7253: 2019. GHS 改訂 6

High performance front fork fluid

現在のバージョン: 5.1

発効日: 21.03.2025

7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項

エアロゾルの発生を防ぎます。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。鉱油製品や化学製品を取り扱う際には、通常の予防措置を講じてください。適切な労働衛生慣行を遵守してください。十分な換気を行ってください。

保管

安全な保管条件

施錠して保管してください。水質汚染物質の取り扱いと保管に関する現地の規制に従う必要があります。引火点に近い温度まで加熱しないでください。

8: ばく露防止及び保護措置

暴露限界値

日本産業衛生学会－許容濃度（2024-2025年版）

成分の暴露限界は記載されていません。

設備対策:

十分な換気を行ってください。換気率は状況に合わせて調整する必要があります。該当する場合は、空気中の濃度を推奨暴露限度以下に維持するために、プロセスエンクロージャ、局所排気装置、またはその他の工学的制御を使用します。暴露限界が設定されていない場合、空中浮遊レベルを許容レベルに維持する。

保護具

呼吸用保護具:

換気が不十分な場合、EN規格149に準拠した呼吸保護具(ガスフィルター付きフルフェイスマスクタイプA-P3、茶色)呼吸装置が必要になる場合があります。

手の保護具:

物質: ニトリルブチルゴム (NBR).

最小突破時間: \geq 480分

推奨される素材の厚さ: \geq 0,38 mm

長期にわたる皮膚への接触又は繰り返し接触を避ける。適切な手袋は手袋サプライヤーから推奨されます。必要であれば皮膚保護用クリームを使用する。保護手袋、安全指示に従って許可されている場合。正確な破過時間は保護手袋の製造元が調べ、遵守する必要があります。

その他

製品を染み込ませたクリーニングクロスをズボンのポケットに入れて持ち運ばないでください。適切な保護服を着用してください。

眼の保護具:

補充中は安全メガネ (EN 166) の着用を推奨します。皮膚や目に触れないようにしてください。推奨: 化学スプレー、ブラッシュゴーグル又はフェイスシールド。飛散の危険がある場合、適切な化学飛沫用安全メガネまたは顔面保護具を使用する。

皮膚及び身体の保護具:

入手可能な情報はありません。

熱による危険性

不明。

環境暴露の制御

セクションを参照 6.2。

安全データシート

JIS Z7252: 2019

JIS Z7253: 2019. GHS 改訂 6

High performance front fork fluid

現在のバージョン: 5.1

発効日: 21.03.2025

9: 物理的及び化学的性質

見た目	リキッド (イエロー)
臭い	特性
臭気閾値	特性
pH値	利用可能なデータがありません。
融点	-42° C
沸点・範囲	>270° C
引火点	168° C (DIN EN ISO 2592)
蒸発速度	適用できない
可燃性 (固体、気体)	利用可能なデータがありません。
上限/下限可燃性または爆発限界	利用可能なデータがありません。
蒸気圧	適用できない。
蒸気密度	適用できない。
密度	0.85 g/cm ³ vid 15° C (DIN EN ISO 12185)
溶解性	溶けない。
分配係数 (オクタノール/水)	利用可能なデータがありません。
自動点火	>270° C
分解温度	適用できない。
粘度	適用できない。
爆発限界	利用可能なデータがありません。
酸化特性	利用可能なデータがありません。
動粘度	20 mm ² /s (40° C, DIN EN ISO 3104)

10: 安定性及び反応性

反応性	推奨される保管および使用条件下では安定しています。
化学的安定性	推奨される保管および使用条件下では安定しています。
危険有害反応可能性	推奨される保管および使用条件下では安定しています。
避けるべき条件	推奨される使用条件下では安定しています。
混触危険物質	酸化剤. 強酸. 強塩基.
危険有害な分解生成物	熱劣化または燃焼により、酸化炭素及び他の毒性ガスまたは蒸気を放出することがある。

11: 有害性情報

急性毒性

物質	テスト	種族	結果
潤滑油 (石油)、C15-30、水素化中性油ベース (CAS No. 72623-86-0)	LD50 経口	ネズミ	5 000 mg/kg bw
	LD50 皮膚	うさぎ	> 2 000 mg/kg bw
	LC50 吸入	ネズミ	2.18 mg/L air (4h)
蒸留物 (石油)、水素化処理重質パラフィン (CAS No. 64742-54-7)	LD50 経口	ネズミ	> 5 000 mg/kg bw
	LD50 皮膚	うさぎ	> 2 000 mg/kg bw
	LC50 吸入	ネズミ	2.18 mg/L air (4h)

安全データシート

JIS Z7252: 2019

JIS Z7253: 2019. GHS 改訂 6

High performance front fork fluid

現在のバージョン: 5.1

発効日: 21.03.2025

蒸留物（石油）、溶剤精製軽質パラフィン（CAS No. 64741-89-5）	LD50 経口	ネズミ	> 5 000 mg/kg bw
	LD50 皮膚	うさぎ	> 2 000 mg/kg bw
	LC50 吸入	ネズミ	2.18 mg/L air
アミンリン酸（CAS No. 68603-74-7）	LD50 経口	ネズミ	> 300 - < 2 000 mg/kg bw
フェノール系酸化防止剤 エージェント（CAS No. 128-39-2）	LD50 経口	ネズミ	> 5 000 mg/kg bw
アルキルアミン（CAS No. 1219010-04-4）	LD50 経口	ネズミ	500 mg/kg bw
アルキルアミン誘導体（CAS No. 1307863-78-0）	LD50 経口	ネズミ	> 5 000 mg/kg bw
	LD50 皮膚	ネズミ	> 2 000 mg/kg bw

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
生殖細胞変異原性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
生殖毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
吸引性呼吸器有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
その他の情報	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
誤嚥の危険	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

12: 環境影響情報

生態毒性

この製品/混合物は、長期にわたる影響により水生生物に有害であると分類されています。

物質	持続時間	テスト	種族	結果
フェノール系酸化防止剤 エージェント（CAS No. 128-39-2）	急性（短期）	魚LC50（96h）	Pimephales promelas	1.4 mg/L
		甲殻類 EC50（48h）	Daphnia magna	0.45 mg/L
		藻類EC50（72h）	Raphidocelis subcapitata	1.2 mg/L
	慢性（長期）	甲殻類 NOEC（21d）	Daphnia magna	0.035 mg/L
		藻類NOEC（21d）	Raphidocelis subcapitata	0.64 mg/L
アルキルアミン（CAS No. 1219010-04-4）	急性（短期）	魚LC50（96h）	Danio rerio	0.148 mg/L
		甲殻類 EC50（48h）	Daphnia magna	6.2 ug/L
		藻類EC50（72h）	Desmodesmus subspicatus	507 µg/L

安全データシート

JIS Z7252: 2019

JIS Z7253: 2019. GHS 改訂 6

High performance front fork fluid

現在のバージョン: 5.1

発効日: 21.03.2025

	慢性（長期）	甲殻類 NOEC (21d)	Daphnia magna	100 µg/L
アルキルアミン誘導体 (CAS No. 1307863-78-0)	急性（短期）	魚LC50 (96h)	Danio rerio	1.34 mg/L
		藻類ErC50 (72h)	Pseudokirchneriella subcapitata	0.502 mg/L
	慢性（長期）	甲殻類 NOEC (21d)	Daphnia magna	0.896 mg/L

残留性・分解性

アルキルアミン (CAS No. 1219010-04-4)

容易に生分解される

アルキルアミン誘導体 (CAS No. 1307863-78-0)

容易に生分解される

生体蓄積性

利用可能なデータがありません

土壌中の移動性

利用可能なデータがありません

その他の悪影響

利用可能なデータがありません

13: 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物及び容器を地方自治体及び国の規制に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

該当するすべての規制に従って廃棄してください。使用済みの製品はエンドユーザーによって処分されるものとします。

14: 輸送上の注意

国際規制

道路、鉄道または内陸水路による危険物国際輸送 (ADR)

輸送危険物として分類されていない

IMDG (海上輸送)

輸送危険物として分類されていない

IATA (国のバリエーションが適用される場合があります)

輸送危険物として分類されていない

特約のご案内

適用できない

海洋汚染物 (Y/N)

いいえ

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

適用できない

特別な注意事項

適用できない。

15: 適用法令

このセクションでは安全データシートが適用される地域/国において、特定の化学物質に適用される法律の名前などを含む情報を提供する。法律に関連する規制およびその他の適用される法律の名称に関する情報が

含まれる

安全データシート

JIS Z7252: 2019

JIS Z7253: 2019. GHS 改訂 6

High performance front fork fluid

現在のバージョン: 5.1

発効日: 21.03.2025

食品衛生法

どのコンポーネントもリストされていません。

日本の労働安全衛生法

蒸留物（石油）、水素化処理重質パラフィン（CAS No. 64742-54-7）-上場しました。
潤滑油（石油）、C15-30、水素化中性油ベース（CAS No. 72623-86-0）-上場しました。

日本の既存化学物質および新規化学物質のインベントリ（ENCS）

アミンリン酸（CAS No. 68603-74-7）-上場しました。
フェノール系酸化防止剤 エージェント（CAS No. 128-39-2）- 上場しました。

日本- 化審法（CSCL）-優先評価化学物質

アミンリン酸（CAS No. 68603-74-7）-上場しました。
フェノール系酸化防止剤 エージェント（CAS No. 128-39-2）- 上場しました。

日本-消防法

蒸留物（石油）、水素化処理重質パラフィン（CAS No. 64742-54-7）-上場しました。

日本の汚染物質放出および移転登録法（PRTR）

どのコンポーネントもリストされていません。

日本の毒物及び劇物取締法

どのコンポーネントもリストされていません。

16: その他の情報

現在のバージョン:

発効日: 21.03.2025

取扱注意事項:

オペレーターに適切な情報、指示、トレーニングを提供します。 付属の安全データシートおよび/または使用説明書を参照してください。

免責事項:

この安全データシートに記載されている情報は、発行日時点での当社の知識と信念の範囲内で正確です。この情報は指定された特定の材料のみに関連しており、安全な取り扱い、使用、保管、輸送、廃棄に関するガイドラインとしてのみ定義されており、保証や品質仕様とはみなされません。

検証者:

www.chemgroup.se